

<市町村名> 行田市

<所在地> 行田市本丸2-20

<電話> 048-556-8316

<本事例の特徴>

本市では、平成17年度より小学校3～6年は週1時間、1～2年は月1時間の英語活動の授業を展開している。その時間の活動内容として、ALTの出身国の話を、毎時間「国際理解教育の視点でのお話」として位置付けた活動の推進について紹介する。

<学校種> 小学校

<具体的な取組や成果>

(1) 行田市の英語活動

(例)

- |                  |                               |
|------------------|-------------------------------|
| 1 あいさつ。          | 6 今日のBest5発表。                 |
| 2 Hello songを歌う。 | <b>7 ALTのお話を聞く。</b>           |
| 3 あいさつゲーム。       | <b>(Sharing Culture Time)</b> |
| 4 今月のCore表現の練習。  | 8 終わりのあいさつ。                   |
| 5 Game。          |                               |

この場面で、毎時間ALTによる話をする。活動内容にあった出身国の話をしてもらうことで、外国の文化を理解することができる。

(2) ALTのお話の実際(国際理解教育の視点で、英語で自国の話をする。)



- ・3年生 11月第2週「買い物」の授業。  
児童は、ケニア出身のALTから「ケニアのお金について」の話を聞いた。自国との違いではなく、共通していることに着目させながら他国の文化を知る機会となっている。

ケニアのお金を初めて見ました。紙のお札が他の国でも使われていることが分かりました。

- ・3年生 11月第4週「買い物」の授業。  
インドネシア出身のALTから「インドネシアの子供たちのお小遣いについて」の話を聞いた。

インドネシアの子供たちは、お小遣いで学校のランチを食べることを知りました。おいしそうなランチでした。

